

令和5年度
事業計画書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

1 演奏事業	01~02
2 音の向上基金事業	02
3 エール基金事業	02

令和5年度 事業計画

名古屋フィルハーモニー交響楽団（以下名フィル）は、昭和41（1966）年に創立した歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り、文化の発展に寄与するため、川瀬賢太郎新音楽監督のもと公演内容の充実を図り、次のような演奏事業活動を行う。

なお、令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策の収束を見据え、事業計画に基づきそれぞれの事業を実施する。

1 演奏事業

(1) オーケストラ演奏事業

ア 定期演奏会 27回

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催する。

愛知県芸術劇場においては、川瀬賢太郎新音楽監督の就任披露公演を含む定期演奏会「継承」シリーズを、11回22公演開催する。

日本特殊陶業市民会館では市民会館名曲シリーズとして、国内外で活躍する5人の指揮者の“お気に入り”を演奏する「マイ・フェイヴァリッツ」を5公演開催する。

イ 巡回演奏会 8回

地方自治体等の依頼により、愛知県内外の市町村において開催する。

ウ 移動音楽教室 30回

未就学児及び小・中学生、高校生を対象に音楽鑑賞教室を開催する。

エ 特別演奏会 18回

若年層へのオーケストラの鑑賞機会を増やすために開催している「こども名曲コンサート」を2公演開催するほか、昼夜2公演を開催する「しらかわエクスプレス」、年末の風物詩である「第九」、ならびに障がいのある方などを対象とした「福祉コンサート」等を開催する。

オ 依頼演奏会 22回

企業・団体等の依頼により開催する。

合 計 105回

(2) アンサンブル（小編成の室内楽）事業等

コロナ禍により中止していた事業に関しては、令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策の収束を見据え、再開を目指していく。

ア サロンコンサート・ロビーコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を開催するほか、定期演奏会の開演前に、演奏会場のホワイエにおいて「ロビーコンサート」を開催する。

イ まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を、名古屋市主催のイベントなどと連携して実施する。

ウ 依頼室内楽演奏会

企業や団体等からの依頼によるアンサンブルの演奏活動を実施する。

エ 公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルの認知度を高めるため、「公開リハーサル」を開催する。

オ 楽員講師派遣事業

小・中学校に楽員を講師として派遣し、演奏とともに音楽の魅力などを伝える。

カ 名フィルの日

平成18年よりしらかわホールにおいて楽員によるアンサンブル・コンサートを実施してきたが、ホールの閉館に伴い、今年度が最後の公演となる。ファンへのこれまでの感謝を込めて、夏休みの土日に2日間連続で開催する。

2 音の向上基金事業

名フィルの一層の音の向上を図るため、「音の向上基金」を活用して、世界的に著名な指揮者及び演奏家の招聘を行うほか、楽器を購入する。

(1) 指揮者の招聘

令和3年にコロナ禍で来日できなかった現代最高の音楽家の一人であるハインツ・ホリガーの3回目の招聘に加え、ジャン＝クロード・カサドシュ、アレクサンダー・リープライヒ、ハンスイェルク・シェレンベルガーを招聘する。

(2) 演奏家（ソリスト）の招聘

同じく令和3年にコロナ禍で来日できなかった世界最高峰のギタリストであるカニサレスに加え、ヴァイオリニストのコリヤ・ブラッハー、ピアニストのアンドレイ・コロベイニコフを招聘する。

(3) 楽器の購入

コントラバスとチャイムを1台ずつ購入する。

3 エール基金事業

楽員の演奏技術向上等を図るため、「エール基金」を活用し、楽器購入、海外留学及びリサイタル活動に必要な資金を貸し付ける。